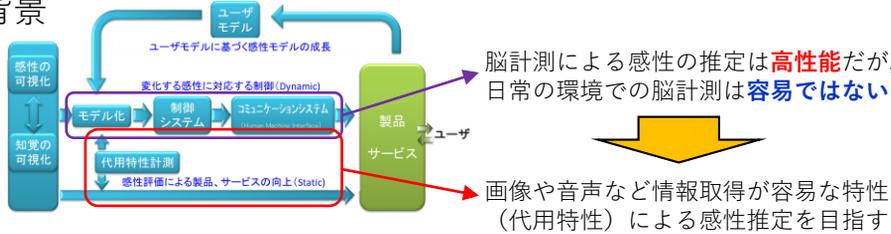


◆背景

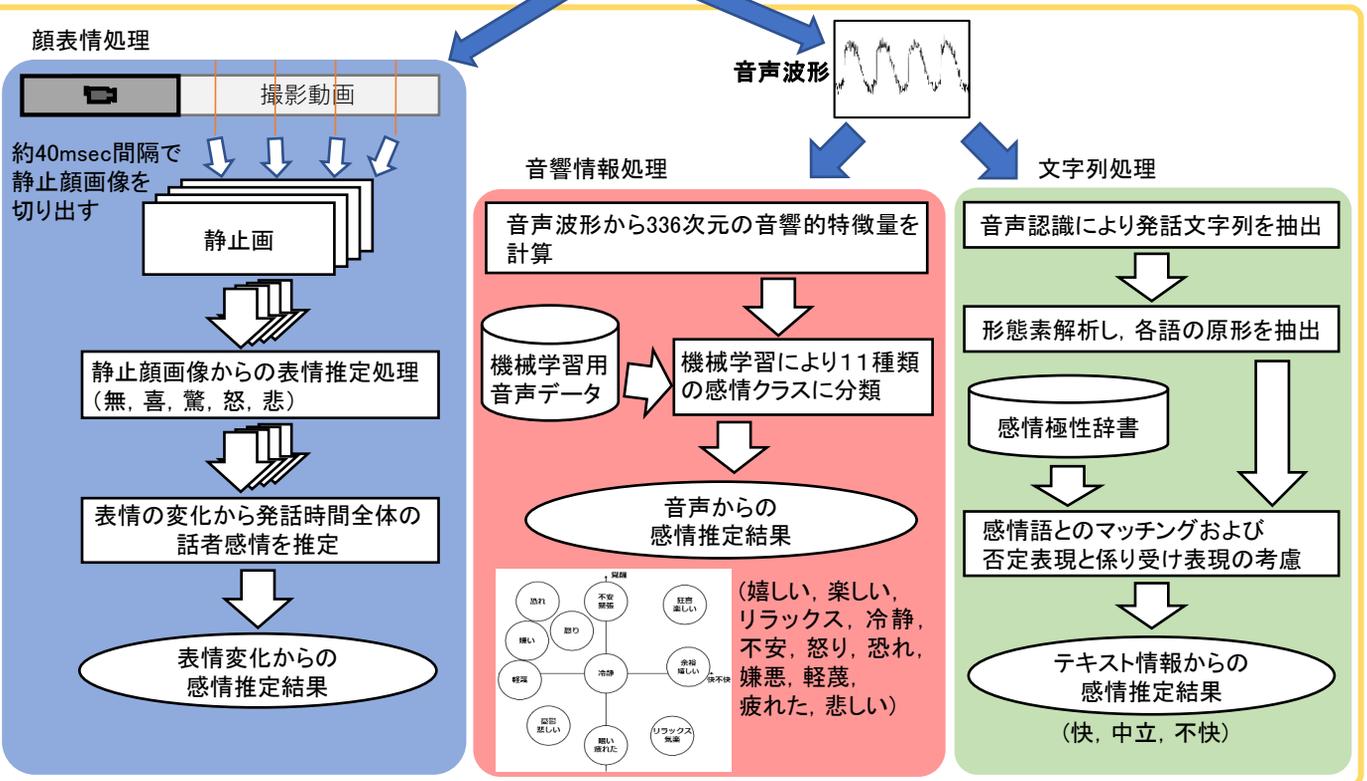


◆目的

- 複数の代替特性の**組み合わせ**による感性推定を実現する
- ヒューマンコミュニケーションシステムに実装できるように**リアルタイムに近い処理時間**を実現する

◆研究内容

感情推定システム



◆研究成果

①同じ感情生起状況から**脳計測情報**と代替特性情報を同時に収集



②第三者による評定や演技による感情表出ではない、**発話者自身による感情評定**を正解とする機械学習

